

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の概要(和歌山県)

1 調査の概要

(1)調査日 平成26年4月22日(火)

(2)調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3)調査内容

①調査を実施した学校・児童生徒

全公立小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

全公立中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

	国語A	国語B	算数A・数学A	算数B・数学B
(小6) 学校・児童数	242校・8,239人	242校・8,237人	242校・8,237人	242校・8,235人
(中3) 学校・生徒数	125校・8,229人	125校・8,243人	125校・8,244人	125校・8,251人

②教科に関する調査

- ・主として「知識」に関する問題…[国語A、算数A・数学A]
- ・主として「活用」に関する問題…[国語B、算数B・数学B]

③生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)
- ・学校に対する調査
(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

2 教科に関する調査結果

(1)全国(公立)の平均正答率の状況

単位：%

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
H19	81.7	62.0	82.1	63.6	81.6	72.0	71.9	60.6
H20	65.4	50.5	72.2	51.6	73.6	60.9	63.1	49.2
H21	69.9	50.5	78.7	54.8	77.0	74.5	62.7	56.9
H22	83.2-83.5	77.7-78.0	74.0-74.4	49.1-49.5	75.0-75.2	65.1-65.5	64.4-64.8	43.1-43.5
H24	81.4-81.7	55.4-55.8	73.1-73.5	58.7-59.1	75.0-75.2	63.2-63.4	62.0-62.3	49.2-49.5
H25	62.7	49.4	77.2	58.4	76.4	67.4	63.7	41.5
H26	72.9	55.5	78.1	58.2	79.4	51.0	67.4	59.8

※ H22, H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は東日本大震災の影響により実施見送り。

(2)和歌山県(公立)の平均正答率の状況

単位：%

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
H19	81.1	59.0	82.6	62.9	80.3	67.0	72.8	58.2
H20	64.3	47.4	72.7	48.9	71.9	57.0	64.3	48.8
H21	69.8	48.4	79.4	53.0	74.9	70.7	63.1	56.0
H22	81.8-83.2	75.0-77.0	72.6-74.6	46.9-48.9	71.8-73.0	61.1-62.7	64.0-65.7	41.0-43.2
H24	79.2-80.7	50.9-52.9	72.0-73.8	55.8-57.7	73.9-75.2	61.0-62.5	62.0-63.8	47.4-49.7
H25	62.4	47.5	76.4	56.9	74.4	64.3	63.4	40.3
H26	69.4	53.4	76.8	55.7	77.4	47.5	65.9	56.8

※ H22, H24は、抽出調査による平均正答率の95%の信頼区間。H23は東日本大震災の影響により実施見送り。

(3)和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位：％

	小国A	小国B	小算A	小算B	中国A	中国B	中数A	中数B
県	69.4	53.4	76.8	55.7	77.4	47.5	65.9	56.8
全国	72.9	55.5	78.1	58.2	79.4	51.0	67.4	59.8
差	-3.5	-2.1	-1.3	-2.5	-2.0	-3.5	-1.5	-3.0

○小学校、中学校ともに、すべての調査で全国平均を下回った。特に小学校国語A、中学校国語Bについては差がある。

(4)和歌山県（公立）の無解答率平均と全国（公立）の無解答率平均との比較
(小学校)

単位：％

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
H25	10.4	10.7	15.3	13.6	1.5	1.7	6.8	6.3
H26	2.4	2.3	9.6	9.2	0.9	0.9	5.0	4.3

(中学校)

単位：％

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
H25	2.8	2.4	3.7	2.8	5.8	5.3	19.1	16.7
H26	3.9	3.1	5.1	3.5	5.4	4.3	13.7	10.9

○小学校では全国平均とほぼ同等の結果であり、中学校では全国平均と比べてやや高い結果となった。

3 質問紙調査の結果

- (1)【学習に対する関心・意欲・態度】「授業はよく分かりますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、中学校国語では全国と差があり、小学校国語・算数、中学校数学では全国を上回る結果となった。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H25国語	79.6	79.9	-0.3
H26国語	80.3	80.1	0.2
H25算数	80.9	80.2	0.7
H26算数	80.2	79.6	0.6

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H25国語	68.7	71.9	-3.2
H26国語	67.8	72.0	-4.2
H25数学	71.8	70.5	1.3
H26数学	71.9	71.5	0.4

- (2)【学校の指導・取組】「授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っているが、中学校では増加し、全国との差も縮まった。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H25	81.1	82.5	-1.4
H26	78.3	82.0	-3.7

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H25	59.5	68.1	-8.6
H26	64.8	71.5	-6.7

- (3) 【学校の指導・取組】「授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに、依然全国との差がある。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H 2 5	72.3	76.7	- 4.4
H 2 6	66.9	71.9	- 5.0

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H 2 5	45.8	51.3	- 5.5
H 2 6	46.4	53.3	- 6.9

- (4) 【学校の指導・取組】「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに増加したが、依然全国との差がある。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H 2 5	51.8	59.4	- 7.6
H 2 6	53.6	61.4	- 7.8

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H 2 5	41.4	52.2	-10.8
H 2 6	46.5	56.1	- 9.6

- (5) 【学校の指導・取組】「算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに、依然全国との差がある。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H 2 5	77.9	82.5	- 4.6
H 2 6	78.0	83.4	- 5.4

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H 2 5	76.3	79.8	- 3.5
H 2 6	76.2	80.0	- 3.8

- (6) 【家庭学習】「家で、学校の授業の復習をしていますか」について「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校は、全国との差がある。中学校は増加したが、依然全国との差が大きい。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
H 2 5	46.1	51.4	- 5.3
H 2 6	46.3	54.0	- 7.7

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
H 2 5	37.3	48.6	-11.3
H 2 6	38.6	50.4	-11.8

- (7) 【メディアとの関係】「1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」、「1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを含む）をしますか」について「2時間以上」と回答した割合は、それぞれ小学校、中学校ともに全国を上回り、中学校は差がある。

(小学校)

児童質問紙	県	全国	差
通話やメール	9.8	8.7	1.1
テレビゲーム	32.9	30.3	2.6

(中学校)

生徒質問紙	県	全国	差
通話やメール	38.8	32.7	6.1
テレビゲーム	43.5	35.4	8.1

4 教科の概要

【小学校国語】

◇…相当数の児童・生徒ができている点 ◆…課題のある点
[] 内は、問題番号と正答率

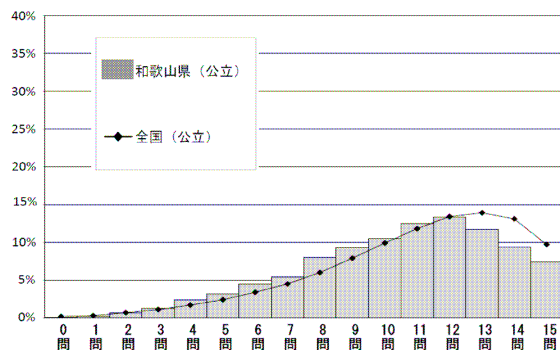
○国語 A（知識）の平均正答率は69.4%であった。

- ◆故事成語の意味と使い方を理解することに課題がある。[A2]一 44.0%, A2]二 43.7%
- ◆情景描写の効果を捉えることに課題がある。[A3] 54.5%

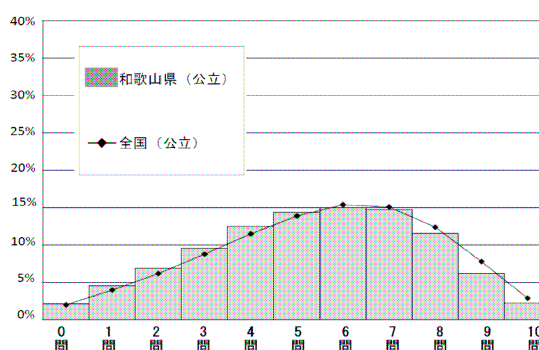
○国語 B（活用）の平均正答率は53.4%であった。

- ◆分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことに課題がある。[B2]二 23.8%
- ◆立場を明確にして、質問や意見を述べることに課題がある。[B1]三 24.9%

[国語 A]	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,239	10.4/15	69.4
全国(公立)	1,080,663	10.9/15	72.9



[国語 B]	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,237	5.3/10	53.4
全国(公立)	1,080,444	5.5/10	55.5



【小学校算数】

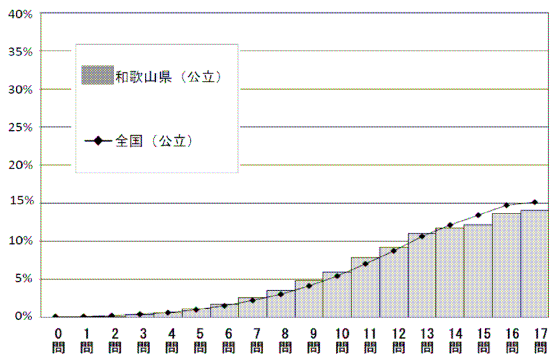
○算数 A（知識）の平均正答率は76.8%であった。

- ◇整数、小数、分数の計算をすることは、相当数の児童ができている。
[A1](1) 97.1%, A1](2) 92.4%, A1](3) 81.1%, A1](4) 91.5%, A1](6) 91.8%
- ◇円周の長さを、直径の長さを用いて求めることは、相当数の児童ができている。
[A5](1) 83.9%
- ◆作図に用いられている図形の約束や性質を理解することに課題がある。[A6] 52.6%

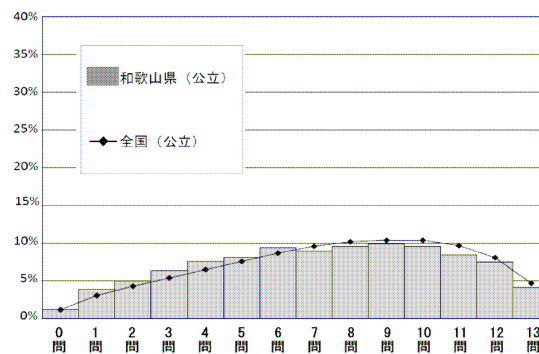
○算数 B（活用）の平均正答率は55.7%であった。

- ◇示された計算のきまりを基に計算の結果の見通しをもち、筆算をすることは、相当数の児童ができている。[B1](1) 93.8%
- ◆示された情報を基に量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述することに課題がある。[B3](3) 30.4%
- ◆示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題がある。[B5](3) 30.4%

[算数 A]	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,237	13.1/17	76.8
全国(公立)	1,080,657	13.3/17	78.1



[算数 B]	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,235	7.2/13	55.7
全国(公立)	1,080,442	7.6/13	58.2



【中学校国語】

○国語A（知識）の平均正答率は77.4%であった。

◇集めた材料を分類するなどして整理することは、相当数の生徒ができています。[A4]ー 91.9%

◇登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することは、相当数の生徒ができています。
[A3]ー 91.5%

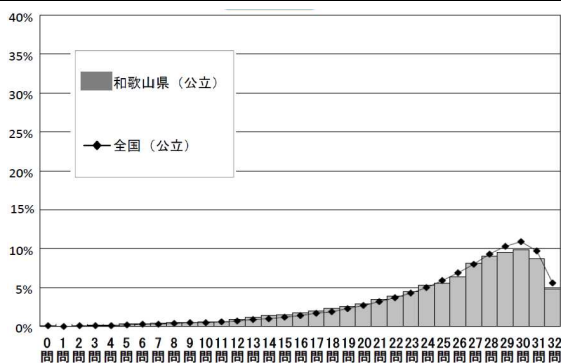
◆目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することに課題がある。[A6]ー 50.2%

○国語B（活用）の平均正答率は47.5%であった。

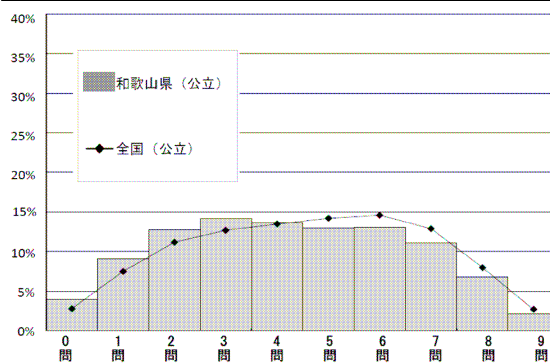
◆資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに課題がある。[B2]三 25.4%

◆複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることに課題がある。[B2]ー 30.9%

[国語A]	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,229	24.8/32	77.4
全国(公立)	1,017,965	25.4/32	79.4



[国語B]	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,243	4.3/9	47.5
全国(公立)	1,018,157	4.6/9	51.0



【中学校数学】

○数学A（知識）の平均正答率は65.9%であった。

◇線対称な図形を完成することは、相当数の生徒ができています。[A4](1) 92.5%

◆関数の意味を理解することに課題がある。[A9] 32.0%

◆底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解することに課題がある。
[A5](4) 36.2%

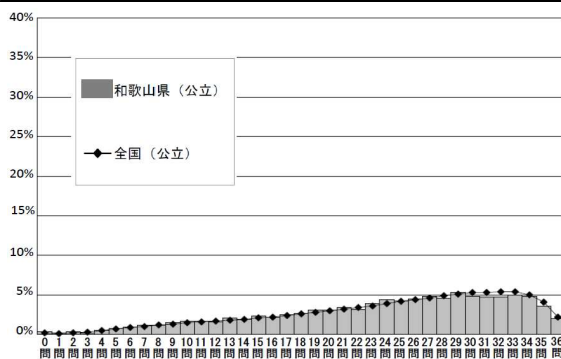
○数学B（活用）の平均正答率は56.8%であった。

◇日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取るとは、相当数の生徒ができています。[B1](2) 91.6%

◆付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いることに課題がある。
[B4](2) 22.6%

◆グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することに課題がある。[B6](3) 25.6%

[数学A]	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,244	23.7/36	65.9
全国(公立)	1,018,328	24.3/36	67.4



[数学B]	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)
和歌山県(公立)	8,251	8.5/15	56.8
全国(公立)	1,018,365	9.0/15	59.8

